

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 日米沖縄返還交渉/国会提出資料（第067回）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43674

(6) 厚生省

○ ○ ○ ○

社会党
1. 琉球水道公社 (設立後現在までの運営内容、引きつがれる権利及び義務)
2. 復帰に伴う特別措置法36条の「政令で定めるものを除く」の範囲と内容
3. 琉球水道公社の取組の数と行先先等、その人数
4. " " の管轄する水利権
5. 医療救済の現状と復帰後の整備計画
6. 無医地区の現状と解消計画
7. 沖縄の年金制度と本土制度の対比 (掛金、給付額等)
8. " " の医療保険制度と本土制度の対比
9. 医介補、山科料介補の現状
10. 看護婦、準看護婦の現状
11. 生活保が基準、対象と本土との比較
12. 障害者、精神者、老人の現状
13. 結核、ハンセン病、精神病の現状
14. 予防法実施に伴う更生対策の計画
15. 厚生年金の扶養の加入者の実態と救済策
16. 保育所の現状と児童数と今後の計画

17. 厚生年金の現状
18. 下水道の現状と復帰後の開発利用計画 (補助額、水道料等)
19. 下水道の現状と開発計画
20. 伝説の " 建設計画
21. 沖縄下の土地改良事業の現状
22. 都市化区域設置の基本方針
23. " " " " " "
公明党
1. 水道に関する基準及び沖縄県公社の資産分割内容 (水源、水道管) 準備中
2. 水道公社の運営収入 (過去3年間の) 準備中
3. 医師の分布表
4. 沖縄生活保が制度と本土制度との対比
5. 保育所の現状と復帰後の整備計画
6. 養育婦の実態と復帰後の厚生対策 準備中
7. 血液状況とその対策

英産党

- 1. アドバンティスト・メディカル・センターの事業内容
- 2. 全島統合上水道施設の一覧表とその所在の
基地内外の区分 準備中
- 3. 医療料金の実態
 - ② 医療保険に付 算定料金の内容
 - ③ 医療扶助に付 支払料金の内容
(準備中)
- 4. 生活保护法の基礎状況と本工政府に付
財政援助の実績

原 参议院

英産党 協特

- 1. アドバンティスト・メディカル・センターの事業内容
- 2. 三公社の進款 準備中
- 3. 全島統合上水道施設の一覧表とその所在の
基地内外の区分 準備中

社会党 協特

- 1. 琉球水道公社 (工地・建州・卸産日付貸借
対照表・竣工後復旧等の運営内容)
- 2. 復旧に伴う特別措置法 36条の「政令で定める
もの除き」の範囲と内容
- 3. 琉球水道公社の取戻の数と行先先等 其の人数
- 4. " " の管轄する水利権

社会党 沖特

- 1. 結核予防法・精神衛生法・ハンセン氏予防法
及び法制定から現在に至る予算の推移及び施設等の
現状 準備中
- 2. 水道料の増徴 (対比準備が済んでいる)

3. 水道公営へのかりり投資額	}
4. 水道公営の設置以降の各年度に於ける	
5. 資本合計、純利益の合計及び最新年度に おける上計算計	
5. 水道公営の最新の資産評価額	}

この表を
公開

沖繩復帰関係資料(その3)

厚 生 省

目 次

- 1 沖縄の医療保険の療養費の償還基準（主要項目）
- 2 医療扶助による支払い料金の内容
- 3 生活保護法の実施状況と本土政府による財政援助の実績
- 4 全島統合上水道の供給水量及び民・軍使用水量の推移
- 5 水資源開発計画と水道拡張計画

0 0 0 0 0 0 0 0

本院における療養費の徴収基準(主要項目)

項目	医科	歯科	薬局
入院外診療料 1.医師によるもの 2.介護によるもの	5点 4	4点 3	調剤担当料 / 点
入院診療料 1.病院 { /月以内 /月~3月 3月以上 2.診療所 { /月以内 /月~3月 3月以上	18 16 14 16 14 12	同左	
往診料	8.5	同左	
検査料	尿検査(種別により) 1~29.5 血液検査(種別により) 3~29.5 脳液検査(種別により) 43~105	歯髓腔検査 1.5	
レントゲン診断料 診断料 撮影料	(部位、方法等により) 6~24 (" " " ") 6~45	(型により) 5~11	
投薬料 薬剤料 投薬手技料の単位に こ { 30セント未満 30セント以上 投薬手技料 内服薬(1剤1日分) 外用薬(1調剤) 外用薬(1調剤)	10%外で費以得点点数 / / /	同左	同左

項 目	医 科	歯 科	業 局
注射料 皮下、筋肉内注射 静脈内注射 動脈内注射	2点 3 (内服, その他K等) 25, 27	} 同左	
理学療法科	レントゲン治療 12~24 ラジオム、コバルト線照射 12~35	長波治療 1.5	
精神科特殊療法	精神療法 12 持続睡眠療法 12		
処置及び手術料	虫歯切除術 275 心筋縫合術 480	普通処置 3 松歯(部位, 難易K等) 10~50	
麻酔科 伝導麻酔 全身麻酔	35~85 170	5~30	
補てつ		有根歯 50 局部歯 180 総歯 180	

(注) 1点単価は10セントである。

資料 ③ 医療扶助による支払い料金の内容

(1) 診療報酬点数表

本土と同様に、現物給付、出来高払制となっている。1点単価は5セント

(2) 一件当たり平均医療費

	入 院	入 院 外
45年1月	39,924円(本土44,160円)	7,531円(本土5,062円)
46年1月	42,156 (54,518)	6,977 (5,826)

(参 考)

項 目	点 数(1点5セント)
初 診 料	10 点
入院診察料	
病 院	24
診 療 所	20
薬 治 料	
内服1日1劑	4
内服1日2劑 (1劑1日分)	2.5
注 射 料	
皮下筋肉内 注射	6 ~ 7
静脈内注射	8 ~ 9

資料2 生活保護法の実施状況と本土政府による財政援助の実績

1 沖縄の保護の実施状況(1971年4月現在)

- (1) 被保護世帯数 9,411世帯(本土 661,508世帯)
- (2) 被保護人員 28,370人(、1,319,886人)
- (3) 人口千人当たりの被保護人員 27.8% (、12.7%)

なお、沖縄の生活保護基準は、本年7月から本土の4級地(町村)並に引き上げられている。(本土は、1級地(大都市)から4級地までの4段階)

(参考)

本土4級地の生活扶助基準額

標準4人世帯 28,411円(月額)

(35才男、30才女、9才男、4才女)

2. 本土政府による財政援助の実績(本土会計年度)

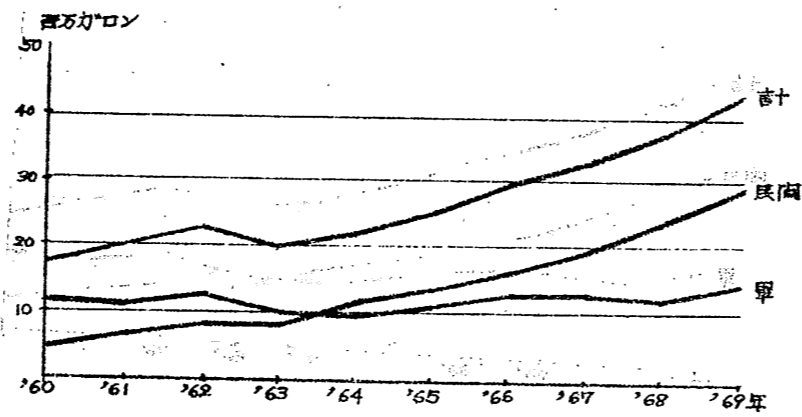
40年度	97,320千円
41	102,651
42	338,392
43	662,159
44	920,147
45	1,198,261
46	1,757,035

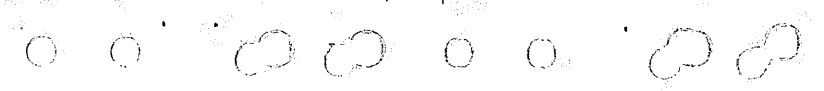
全島統合上水道の供給水量及び民・単使用水量の推移

沖縄の上水道の需要は上昇を続け、1970会計年度における日最高需要量は5,500万ガロン(前年度5,100万ガロン)である。

なお、過去10か年間の1日平均需要量の推移は次のとおりである。

全島統合上水道1日平均需要量





水資源開発計画と水道拡張計画

沖縄の水道は、戦後急速な普及をとり、昭和45年度末現在水道施設は、簡易水道を含めて283か所あり、その総給水人口は81万人、総人口の82.2%に達している。

この普及度からみれば、沖縄の水道はかなり高い水準にあるが、一般に小規模な水道が多く、地形上水源に恵まれないものが多い。

沖縄本島においては、今後本島中核都市圏における人口集中、生活水準の向上、諸産業の発達等に伴って水道用水の需要の増大が予想されるので、現在福地ダム（日量10万立方米）を建設中であるが、さらに北部の水源地域に3か所のダム（日量127,000立方米）を建設して水源地の確保をはかるとともに、これらの水道用水を中部部の23市町村に供給するために必要な水道用水供給施設の整備ならびに市町村水道施設の整備拡充を計画的に推進することにより沖縄の水道を本土なみの水準に引き上げることとしている。

